

佐事研だより

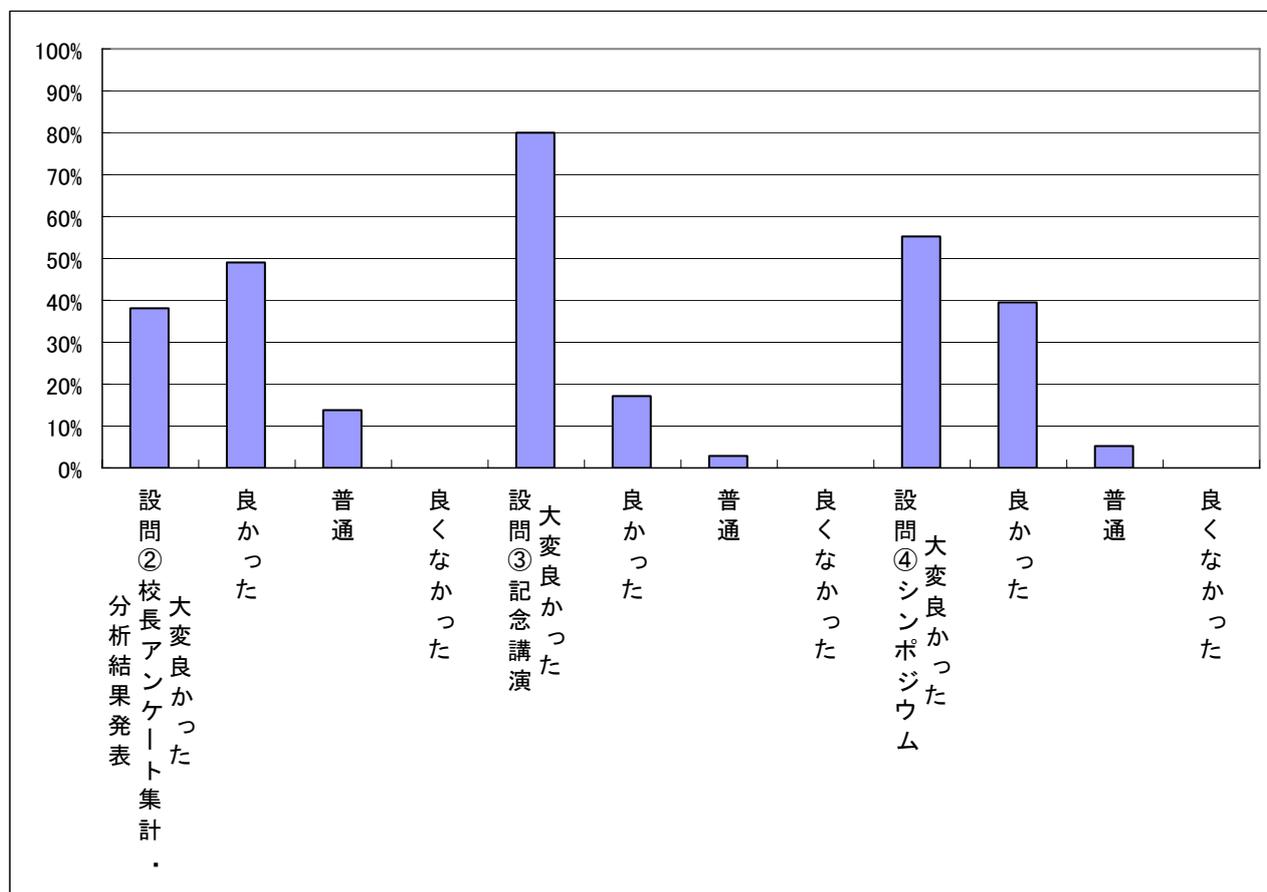


佐賀県公立小中学校事務研究会
編集発行人 小川 洋起

会員各位

新年あけましておめでとうございます。今年度もよろしくお願いたします。朝晩の冷え込みが厳しい折ですので、お風邪などめしませんようお気をつけください。

たいへん遅くなりましたが、第21回研究大会のアンケート結果の集計ができましたので掲載いたします。



佐事研第21回大会アンケートよりコメント一覧

『設問②校長アンケート集計・分析結果発表』 について

- ・ 悪いとのアンケート部分をもう少しほりさげて欲しい。
- ・ 外部（近親者？）評価として非常に興味ある取り組みの結果がみられ良かった。様々な事務職員

アクセス！ [\(http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/\)](http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/)

像がみられた。

- ・ 自分自身が校長からどうみられているのか気になるところだが、まずは、事務処理を迅速に正確にこなして、信頼を得ることが一番だと思うし、それがあってこそ企画運営にも参画する資格が得られると思う。自分から企画会議に入れてほしいとなかなか言えない。勇気(?)と説得力(?)が必要。
- ・ 定年までのまだ折り返し地点にも達していない私にとって今後の事務職員人生への不安とその責務の重大さに打ちひしがれています。まだ、当面する仕事に追われている段階ですので・・・
- ・ 91%の回収率の良さと管理職の本音をかいま見ることができて大変興味深かった
- ・ 校長先生方の意見が反映されていると思いました。事務職員自身も変化し、校長と同等のレベルで話し合いが出来る様になれる事を希望しています。
- ・ 事務職のあり方、姿勢などがよく分かった。
- ・ パワーポイントでグラフを表示していましたが手元の資料と同じ横棒グラフがよかったのでは・・・と思いました。また自由記述についてパワーポイントで表示していることを説明される前に言ってほしかったです。個人的にはもっと内容を知りたかったので・・・。
- ・ 良く分析されていると感じました。ベテランの方が多い(前回の県事研でそのような講演があったと思いますが)佐賀だからこそその結果かと思われます。「個人の差がはげしい」と言うのに対しては、単純に単数配置の影響ということで終わらせず、県への研修の要求や事務研主導での研修がもっと必要かと感じました。
- ・ お忙しい中、ご苦労さまでした。
- ・ 教育への理解の期待度が高いのが意外でした。事務職員は事務だけしてくれればいいと思っている教員が多いのでは？
- ・ 定期的なアンケートをして下さい。
- ・ アンケート集計・分析お疲れ様でした。
- ・ 校長からの期待や事務職員に求められる能力など、知ることができたのは有益だった。定期的にも続けることや、アンケートの対象を教頭・教諭まで広げることなど考えてはどうかと思った。ただ、冊子に書いてあるのを読み上げるだけの発表は時間の無駄かと。書いてあれば読めますから、流石に。
- ・ 本来の業務以外にも、教育面や学校行事等への積極的参加が求められていることはわかるが、専門である教員の中で、関わりを持つためには、教員側にも理解を求めるべく下地が必要で、勉強しないと、先生方が納得する意見は言えないと思う。
- ・ 校長先生の事務職員に対する「思い」が分かってよかった。また、アンケートに答えていただくことで、「事務職員の職務の内容」等 再認識していただけたのではないかと思います。
- ・ 事務職員の年代によって、どう見方が違って行くか再度調査してほしい。
- ・ 学校長が望む経営参画、教育的なことへの関わりが具体的にどの程度なのか、また事務職員が考える経営参画とはどのようなことか議論をして分析する必要があるのではと思う。
- ・ 耳に痛い分析結果が出ていたと思う。学校のスタッフ、同僚性の欠如の指摘は根強い意識として残っているものであり、打破するには強い意識改革が必要であると思った。
- ・ 大変勉強になりました。ただ、その他をナマの文章で見せていただけるとその方の心情まで、少しは理解できて良かったのではないかと思います。(ナマ=省略せずに、という事です)
- ・ 教育行政のあり様、自分たちの意識のもち様がポイントではなかろうか？

アクセス！ [\(http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/\)](http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/)

- ・ 集計おつかれ様でした。わかりやすかったです。ありがとうございました。
- ・ 事務局はおもしろい試みをされましたね。次回は教頭にもいかが？評価→地域性、育った校長が土壌でも（小さいことだが、心の奥の中には）相違があるとする佐賀市の校長と郡の校長とでは、考え方に若干差があるとする。それが評価の仕方にもつながる気がするな。
- ・ 校長先生方の考えや思いがよく分かるアンケートだったと思う。
- ・ 校長先生の事務職員への期待度がわかった。学校運営に参画すべく日々の業務の幅を少しずつでも広げていきたい。
- ・ 知りたいけれどなかなか聞けない校長先生の本音、期待するもの、苦言も含め、自分に対してのものと受けとめながら聞かせてもらいました。
- ・ 細かく分析してあったと思う。
- ・ 手元を見ずによく内容がわかる方式と、わかりやすい説明でした。
- ・ 我が県でやったら、どういう結果になるのかなあと思いつききました。今後、このアンケート結果や分析をもとにした提案を行うということで楽しみにしています。
- ・ 自校の校長のアンケートが気になるところです。何らかの形で話せる場を持つ必要があると思います。
- ・ これからは事務職員の「積極性」が重要なポイントになっていくものと思う。
- ・ やはり、もっとがんばらねばと思います。頭の中であれもしたい、これもしたいという思いはあるのですか、現実の仕事の忙しさにまぎれて・・・思いと現実のギャップを乗り越えられないもどかしさがあります。
- ・ 佐事研には是非このアンケート結果をいかしてほしいです。
- ・ いろいろ考えさせられる結果内容だったと思います。
- ・ 事務職員がどのような印象を持たれているか、また、どのような期待をされているか、現状がよくわかりました。これから、自分の意見を持って積極的に学校経営に関わっていければと思うと同時に、事務処理等の業務も確実にこなしたいと思いました。
- ・ 校長の考えがよくわかってよかった。
- ・ 初めての試みで興味深く良かったと思います。今度は逆に事務職員から見た校長・教諭に対するアンケートもいいのでは。そして、立場の違いを相互理解して協力しよりよい学校にしたいですね。
- ・ 通常の事務処理業務は出来て当然、当たり前ということを基本に学校現場ではそれ以上の学校運営に関わることを求められていることを感じました。
- ・ 事務職員の立場を理解してもらっているようですが、思ってもらっただけでなく、積極的に校内の体制を変えてもらいたい。なかなか現実に程遠いようでもある、又、個人的に思ったことで設問8の分析4で、年配（高齢者）のことが引っかかる、我々を引っ張ってきてくださった先輩も時代の流れになかなかついていけない今こそ、40代の我々が、それを支えていくべきだろうこんなことを言わせないためにも！
- ・ 教頭・教諭の方の意見も聞いてみたい
- ・ 自校の校長がどう自分が評価しているのかが興味がある。校長は事務以外に学校運営に参画してもらいたいと思っていることが結果から見てとれるが事務職員自身経験年数や個々人の意識の差などが有るのも現実と思う。
- ・ 分析をもう一つ分析しながらみると、それなりにおもしろかった。

『設問③記念講演』 について

- ・ 物の見方考え方が変わって良かった
- ・ 自己の判断で、子供や親、又は、職員に対応してきたが、思慮不足だった点がいくらかあって、今後に生かせそうなものを得ることが出来た。
- ・ 迫力のあるお話で大変面白く興味深く聞かせて頂きました。
- ・ 明朗快活でよかった。いちゃもん例題もよかったけど、そのウラにあるもの～を感じ取ること、一緒に考えて行動していくこと等勉強になった。
- ・ たいへんおもしろかった。イチャモンの背景にあるところをもっと理解しなければならないと思った。もっと臨機応変に対応しなければならないと思った。
- ・ 服装話面白かった。何事についても様々な見方、考えがありますよね。
- ・ いろいろな意味でおもしろく、また怖い内容だった。語りがうまいのはさすがに大阪暮らしの先生だなあ、と思う。
- ・ 笑い話のようなイチャモンも、いつ自分の身にふりかかってくるかわからない。苦情の背景にあることもよく話を聞いて対応しないといけないと思いました。熱い、楽しい講演でした。
- ・ ユーモアを交えながらの話で、楽しくきくことができました。
- ・ ねむくならなかったです！！共感するところが多くあり・・・とてもおもしろかったです。
- ・ 保護者にとってはなかなか学校の事情が理解されてなく、それが誤解やイラ立ちを生んでいる。保護者が本当にいいたいことは何なのかを考え相互理解を深めていくことが大切だと思う。
- ・ わかりやすく楽しい話で大変良かった。
- ・ 熱のこもった講演でためになりました。文科省の顧客サービスの部分をもっとききたかったです。
- ・ 緩急自在かつ興味深いエピソードをまじえた大変おもしろい話でした。
- ・ 私も学校への要望、苦情が増えていると感じています。相手の立場や事情を考えて対応していきたいと改めて感じました。
- ・ 多様な事例を挙げてもらい大変わかりやすい内容だった。一つわかったのはイチャモンと要望をしっかりと判断し、相手との相互理解をすることが、大変重要であることがわかった。
- ・ すごく楽しい講演でした。イチャモンを言うてくる人が何を考え何をどうしてほしいのかという相手の気持ちを考え対応すると言う事が良く分かりました。
- ・ (余談、歩いて話す姿、古川副会長に似ていらっしやったな)
- ・ 多くのイチャモン事例が聞けて面白い講演でしたが、イチャモンへの対応の仕方等についてももう少し言及していただければ・・・とも思いました。PTA会員にも参加を呼びかけてあったので、学校現場に対するメッセージだけでなく、保護者側へのメッセージも、もう少しあってもよかったかなと感じました。
- ・ 午後の眠たい時間にすっきりした気分で講演を聴いたのはひさしぶりで大変良かった。
- ・ 話がわかりやすかった。「相互理解」と「本音のみぬく」がキーポイントなのだったと思った。
- ・ 現にされた事のウラや、私たちが見えないことを考える想像するという視点が大変勉強になりました。
- ・ 非常に内容があり、また、今後の学校勤務等に役立つような講演でした。イチャモンと世の中のつながりについても考えさせられた。
- ・ 社会・家庭の負の縮図がある学校に対する無理難題に対し相手の非をきくばりながら話し合いの

アクセス！ [\(http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/\)](http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/)

場にのせる知恵をもらった様な気がした。

- ・ 楽しい話し方の中に現実的なイチャモンの解決の糸口の話が聞けて良かった。
- ・ もう少し話を聞きたかった。
- ・ 「イチャモン」のウラにある諸問題に耳を傾け解決方法を見つけることが大切であるように感じました。
- ・ 今回、2回目のお話でしたが、楽しくきかせて頂きました。
- ・ 自分の学校でも似たような事があっています。
- ・ 実際にそくした話を交えて非常に良かった。
- ・ 親からのイチャモンに対して、相手の話をていねいにきくことをモットーにしています。今日の話聞いてその場だけの対処療法だと思いました。もっと根が深い所に原因があることを気づきました。
- ・ 佐賀はまだまだ住民が昔気質だからでしょうか。大阪の例程イチャモンはないような気がしました。それでも、何だか笑えない（笑うしかないものもありますけど）例もあり、自分の対応について、もっと注意しなくては、と考えさせられました。
- ・ 校長先生、教頭先生、教育委員会の方々に是非聞いて頂きたい内容であった。
- ・ 大きな問題を含んでいて大変よかったです。
- ・ 笑いと同時に大変考えさせられました。
- ・ 社会がよくなるために、イチャモンのうら、苦情などの別、そのうらにあるものがよく分かりました。
- ・ 学校改革はまず事務職員より。大変すばらしかったです。
- ・ 多くの事例をもとにおもしろく、楽しくお話して下さり、大変参考になりました。
- ・ ありきたりの講演ではなく、時間が短く感じるほど良い講演であった。
- ・ 本音を読みとる。イチャモンには理由がある・・・。そっかあでした。
- ・ イチャモン、苦情に対しての対応やとらえ方が少し理解できた。
- ・ 現在の世相を反映し感心することばかり、親としての大人としてのあり方、対応する側としての私達のあり方が問われている。未来を明るくものにするためいま一度がんばりましょう。
- ・ 熱弁に聞きいってしまった。最後までしっかりと聞いた。
- ・ 学校職員という立場からは、とてもやさしく受けとめてもらってホッとした。では、どうなるのかというところをもう少し聞きたかった。

『設問④シンポジウム』 について

- ・ 今までで一番内容の濃いシンポジウムであったと思う。
- ・ 唐津の人の発言でちょっとしまったかなと思いました。ちょっと身内のなぐさめ合いになろうとしていたので、ぴりっとした空気になってよかった。
- ・ これまでにないパネラーで県事研の役員の方々のご苦勞に感謝します。もう少し裏話がきけたらと今いち記憶が薄い。ぜいたく言ってすみません。
- ・ いろいろな方面の方の意見、考えが聞けてよかった。
- ・ 保護者でもあるので、理解に努めるようにしなきゃ（しっかりしなきゃ）です。このシンポジウム
アクセス！ [\(http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/\)](http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/)

ムに居合わせられたことがチャンスでした。

- ・ 保護者をいれてのシンポジウムということで今までにないシンポジウムの形が大変良かった。いろいろな意見を聞くことができ興味深かった。
- ・ パネラー方達の素直な意見を聞く事が出来て、とても良かった。
- ・ 学校のあり方、メディアのあり方を考えさせられました。
- ・ 特に県教委への苦情等については具体的にどんなことがあり、どう対応しているのかを知りたかったので大変勉強になりました。
- ・ これから何ができると問われれば私の年代では、できることは少ないかもわからないが、共感と誠意をもって仕事をしていこう。
- ・ 一般の保護者の方が発言されたことがかなり身になりました。
- ・ それぞれの立場の方から話が開けて良かった。
- ・ 2時間、椅子にすわるのが、大変苦痛だった。話し合いの内容は、それなりに良かったのではないかな。
- ・ いろんな立場の方からの意見が聞けて良かった。
- ・ 大変良かった。
- ・ 話は止まらない。勉強になりました。
- ・ パネラーの方の色んな意見が大変参考になりました。中でも県教育委員会への要望や苦情の対応がすごく大変そうだと感じました。
- ・ パネラーの方々、それぞれの立場からの意見が大変勉強になった。学校の第一の窓口として今後の参考にしたい。
- ・ いろいろな立場からのお話が良かった。(プロにはびっくり) それぞれの立場で誠意をこめての対応が必要だと思う。
- ・ いろいろな立場の方からの意見がきけて大変参考になった。学校の窓口としての自覚をもち対外への接し方について気をつけていこうと思う。
- ・ ここ数年特に感じるが、何か世の中がギスギスしたものになっている。その背景には競争主義、成果主義の推進があるのではないかな。日本の未来はどうなるのか?不安が増大しますが最後の小野田先生のパフォーマンスをしましょう。のユーモアをまじえた未来展望に勇気づけられました。
- ・ それぞれの立場からの状況や考え方等がわかりました。
- ・ 古川先生も言っていたがメンバーがすごかった。内容に合った人選だと思う。
- ・ 人選が良かった。いろいろな現実的問題がそれぞれの方からだされて面白かった。ためになりました。
- ・ いろんな立場の人の本音が聞けてよかった。
- ・ 特別参加された方の意見がよかった。中でも問題が起きた時の対応として「共感」まさにその通り!人間は感じて動く。(感動)それを共感した時に解決への道がある。
- ・ 近頃では、一番興味深い内容だった。
- ・ それぞれの立場からのイチャモンの実例には、思わず「うんあるある」とうなづいてしまった。やはり解決への道は遠いのか3年待てば明るい光がさしてくるのか。

『設問⑤その他の意見及び希望等』 について

- ・ シンポジウムのパネラーの方の名札が小さく会場から見にくかった。文字を工夫された方が良いのでは。
- ・ 佐事研が出来て10年。本当に毎回開催される講演等勉強になります。色々な角度から物を見る事が出来るし、人間として今後も成長していきたいです。役員の皆さん、おつかれさまです。ありがとうございます。いまから、ここから、みんなでがんばろう。
- ・ 講演は、もっと多くの人に聞いてもらったらよかったです。
- ・ 校長の思いが感じられてよかった。設問7の今後への視点で「単数配置の弊害を除去する」という言葉の選び方が気になりました？
- ・ 美術館のイスはおしりが痛い。
- ・ 初めて参加させていただきました。事務職員という立場、学校・家庭・地域との連携、大変勉強になりました。小野田先生の講演すばらしかったです。ありがとうございました。
- ・ ここ(美術館ホール)での開催は今回限りにしてほしい。給与会議の時にも思っていることだが、まず会場が暗いので資料が読みづらい。座席がせまい。駐車場がないなど欠点ばかりしか思いつかない。来年度以降はずっとアバンセで開催してほしい。
- ・ 一般の人をいれるのもよいと思う。もっと一般にアピールするような方向でよい。
- ・ 駐車場に余裕がある会場にしてほしかった。
- ・ とても有意義な会でした。
- ・ 講師の都合もあるだろうが9:30~16:00位で開催して欲しいな。
- ・ 今回は画期的な取り組みだったと思います。お疲れ様でした。
- ・ 大会の運営、企画に関わった方々ご苦労様でした。
- ・ 公教育は残れるのか。
- ・ いい研修会でした。今後ともよろしく願います。学校事務職の発展のためがんばってください。微力ながら協力します。
- ・ お天気がよくてよかったですね。
- ・ 駐車場を。
- ・ 事務局の方ご苦労さまでした。
- ・ 次回もテーマをしばって今回みたいな講演とシンポを期待しています。
- ・ お疲れ様でした。
- ・ パネラーの皆さんは、立場立場で大変な問題を簡潔にまとめて話していただきありがとうございました。そのご苦労に対してのお礼をちゃんと、伝えるべきだったのでは・・・とてもよいシンポジウムだったのに、残念だった。改めて、お礼の拍手をうながすなど

玄海町の共同実施の紹介

玄海町では平成14年度から加配なしで行っています。小中学校6校でゆるやかに実施しており、若い人が多く活気があります。

○共同実施は原則毎週1回（会場は拠点校の有浦中学校、月1回役場）

・役場で行うときは「事務担当者会」として、学校教育課担当者を交えて、連携を図っています。

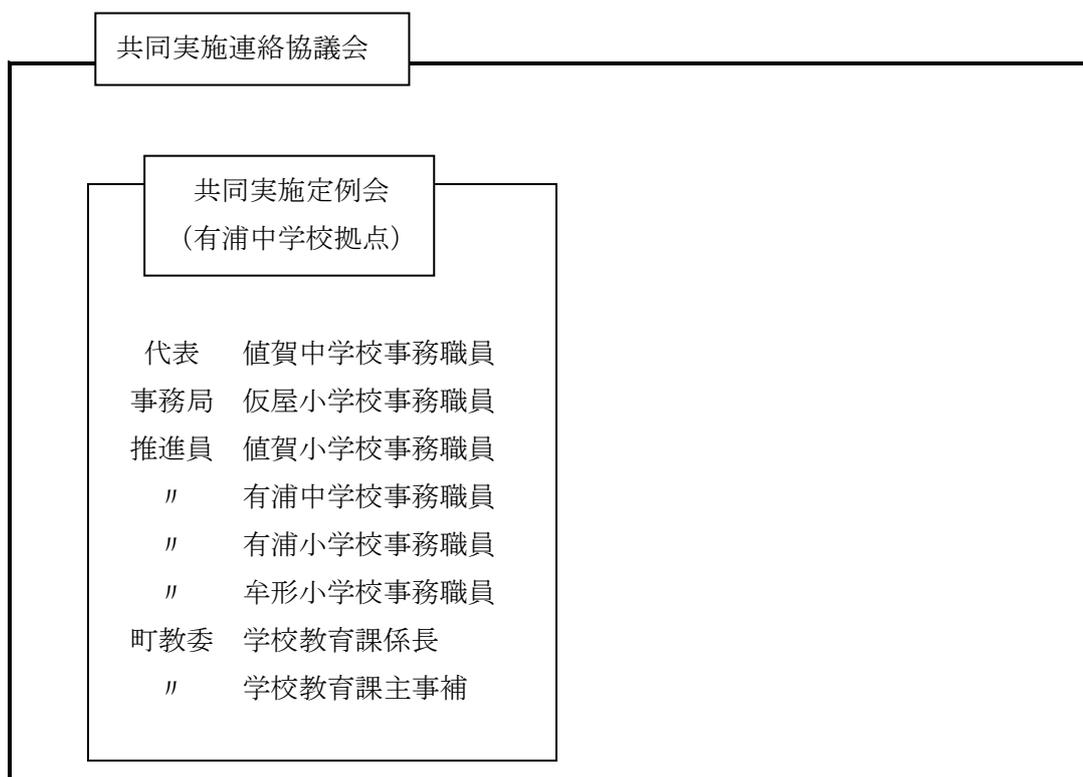
○共同実施連絡協議会は、概ね年2回（年度当初及び12月）の開催 … 参加者は、教育長・学校教育課長・各学校長・各学校事務職員。

● 共同実施事業の内容

- 1, 学校教育課、並びに学校内職員との連携強化・業務の見直し
- 2, 例月電算報告、旅費請求書、各種報告書等の点検・確認
- 3, 給与支給関係事務の本庁への一元化に伴う対応
- 4, 諸手当認定事務、旅費関係事務、各種調査等に係る点検・確認・情報交換
- 5, 各種報告書、提出書類の一括提出及び一括受領
- 6, 経験の浅い事務職員配置校の支援
- 7, 相互研修（OJT）、新採研修
- 8, 施設設備の相互点検、工事・修理などの学校間調整
- 9, 広報紙『えなじー』の作成
- 10, 伝票の一括依頼等、伝票会計事務に係る共同処理
- 11, 財務事務に関する情報交換・連絡調整 など

平成18年度 玄海町学校事務共同実施組織図

玄海町教育研究会学校事務推進委員会



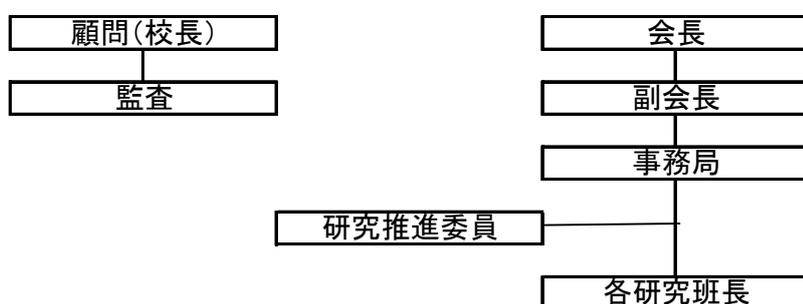
唐津地区小中学校事務職員研究会の紹介

唐津地区小・中学校事務職員研究会は、唐津市・玄海町の2市町により組織し、「新しい時代の学校事務を考える」の研究テーマのもとに、学校間連携を基礎として事務職員のレベルアップを目指し、研究、修養を積み、互いに研鑽しています。

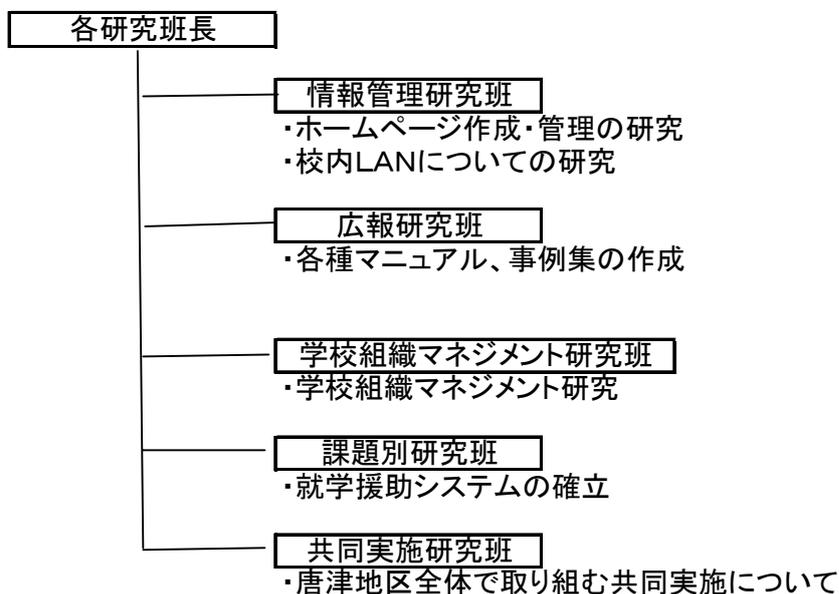
研修体制については、合併に伴う旧郡・市間の事務職員の交流、また新唐津市における財務事務の問題点等の話し合いを進めるため、今年度は各研究班を立ち上げ、それぞれの班で研究交流を進めています。

研修については、全体会・研究課題別研修会・ブロック別研修会を行っています。ブロック別研修会は、唐津地区西部(旧肥前町・旧呼子町・旧鎮西町・玄海町)・中部(旧唐津市)・東部(旧厳木町・旧相知町・旧北波多村・旧浜玉町・旧七山村)の3地区に分かれて、情報交換等、年に数回行っています。

唐津地区小中学校事務職員研究会運営組織図



研究組織



杵島地区佐事研究会員の研修活動を紹介します

～白石地区（白石町）編～

●会員

須古小(江口副主査、本告主事)、六角小(相良事務長)、白石小(藤井主査)、北明小(川崎事務長)、福富小(千住主査)、有明東小(小柳主査)、有明西小(橋間主査)、有明南小(堤事務長)、白石中(白武主査)、福富中(武富副主査)、有明中(川崎事務長) 以上 12名

●研修活動紹介

平成17年1月1日に旧白石町、旧有明町、旧福富町の3町合併により新「白石町」が誕生しました。白石町教育会・事務職員部会研修会において、月1回～2回の研修を行っています。地教委の係長も毎回出席し、充実した研修が行われていると思います。研修内容は以下のとおりです。特に18年度は、事務研で備品分類及び備品シートを町へ提案し、管理の統一を図りました。共同実施については、19年度に実施内容を検討し、どのような形で学校運営に寄与できるのか、研修していきます。

| | |
|--------------------|--|
| 平成16年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・新町給食費公会計に伴う事務処理(児童口座情報等入力) (給食費 旧町私費会計・公会計 → 新町公会計で統一) ・3町事務職員研修会で各学校間の町費予算の確認及び調整を行う(11回) ・地教委との合併ヒアリング、暫定予算書作成(H17.1月～3月) |
| 平成17年度 (新白石町誕生) | <ul style="list-style-type: none"> ・新町財務会計システム開始 ・新町公開羅針盤システム開始 ・白石町事務職員研修会で各学校間の町費予算の統一を検討 (備品購入、委託契約内容等) |
| 平成18年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・町財務システムによる学校備品管理の導入 白石町事務研の具体的研修 ①文科省の備品分類表を基準とした教科備品の分類表作成 ②事務研で分類表及び備品入力シートを作成し、町(地教委)へ提案 ③ ②の提案承諾による備品入力作業開始(H19.3月末入力完了予定) <li style="text-align: center;">↓結果 ・町財務システムによる学校備品(一般・教科)の管理 (備品台帳シート、備品ラベルの管理の統一) |

～江北地区（江北町、大町町）編～

●会員

江北小(石丸事務長)、大町小(北主事)、江北中(村岡事務長)、大町中(杉野事務長) 以上4名

●研修活動紹介

江北部教育会・事務職員部会研修会を年間4回開催しています。主な研修内容は新旅費システム、各学校事務の支援(監査対応)、パソコン研修等です。江北町2校、大町町2校の合同研修会のため、町費予算等についての研修は行わず、県関係の研修が主体です。

4校とも比較的大規模校であり、それぞれの学校のニーズにあった形で学校運営に関わっているのが現状です。

町合併が行われていないため、共同実施等、学校事務が直面している問題にどのような形で取り組んでいくのが、今後の課題です。

アクセス！ [\(http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/\)](http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/)